

こどもたちの心におはなしのシャワーを

12月



つるおか市立図書館おはなしポケット 2017.12 40/266

もうすぐだよ!! おはなしポケットの

冬のおはなし会

ひとり 2017年12月9日(土)・10日(日)

ばしよ 鶴岡市立図書館 2階 講座室

☆クリスマス☆
えいごまつり
☆12/5~12/24
クリスマスのえいご
がたくさんだらびます!
図書館入り口
展示コーナーにて



日	月	火	水	木	金	土
開館時間*平日 9:30~18:00 ← 2月から2月まで 土・日祝 9:30~17:00 年末年始休業★12月29日~1月3日 休館日★ 毎週月曜日(祝日が重なった場合は翌日)						1 3じ~ おはどん
3	4 休館日	5	6 4じ~ おはすい	7	8	☆9 10:30- 冬のおはなし 3じ~おはどん
☆10 10:30- 冬のおはなし	11 休館日	12	13 4じ~ おはすい	14	15	16 3じ~ おはどん
17	18 休館日	19	20 4じ~おはすい 昔がけりの日	21	22	23回 天皇誕生日 3じ~ おはどん
24 ★クリスマス ★17	25 休館日★ クリスマス	26	27 11じ~おはちび 4じ~おはすい	28	29 休館日	30 休館日
31 休館日 大みそか						



おはなし会 10:00~10:40
工作タイム 10:40~11:10

12月9日(土)

- 1 ポケットのうた
- 2 ハンカチネズミ
- 3 もりのともだち
- 4 小人とくつや
- 5 プックトーク
- 6 ポケットのうた

12月10日(日)

- 1 ポケットのうた
- 2 まるくておいしいよ
- 3 あなにおちたぞう
- 4 小人とくつや
- 5 プックトーク
- 6 ポケットのうた

12/6(水)の
おはすいは
えいごぞ
よみきかせ!
「はらこ」のおはなし
「ゆきのひ」と
英語と日本語で
読み比べ♪

館内おはなし会
ごあんない

おはなし水ようび おは水 毎週水よう日 4じ~4じ30分	おはなしちびようび おはちび 第4水よう日 ごせん 11じ~11じ30分	おはなし土ようび おはどん 毎週土よう日 ごご 3じ~3じ30分
絵本・紙しばいを 中心に。 第3水曜日は 昔語りの日	0~1才向けの おはなし会 手あそび・わらべうた 絵本など	季節のおはなし 絵本や 紙しばいなど

おはなし会が終っても、工作タイムが続く!
当日は馬車場の混雑が
予想されます。
ご希望だけお乗り合わせの上
ご来館ください!

鶴岡市立図書館
住所 鶴岡市家中新町14-7
お電話 0235-25-2525



館長の



こども室の本棚から



図書館の絵本棚を見ても、本屋さんの児童書コーナーを見ても、最近はどうしても、幼児向けの絵本に気持ちがいってしまいます。最近私が関わる子どもは、ブックスタートの7か月児と、おはなし会にきてくれる小さな子、そして我が家にやってくる孫娘なので、取り上げる本が小さい子向きが多くなっていることをお許しください。

そんなことで、今月紹介するのも「ばななせんせいとさがしっこ」(得田之久文、やましたこうへい絵、童心社 2015 年刊)、小さい子向けの絵本です。シリーズで「ばななせんせいのほん」の三冊目です。「つちのこえん」の小さいこのクラス「ほしぐみ」のばななせんせいは、遊びの名人でみんな大好き。ある日、四つ子のぐりんぴーすの「すー」が居なくなってしまう。みんなで「すー」を探すが、なかなか見つかりません。園庭をみんなで探す様子がページごとに描かれているのですが、実は、どのページにも「すー」はちゃんといるのです。でも、みんなには見つけることができません。最後は、なんと植木鉢の下から聞こえるいびきで見つ



「きんぎょがにげた」
五味 太郎 作
福音館書店
1982年



「ばななせんせいとさがしっこ」
得田 之久 ぶん
やましたこうへい え
童心社
2015年

けることができました。だんごむし君たちと一緒にね。私の中では、得田之久さんといえば、虫の絵本！なので、「おー。だんごむし出た。植木鉢の下ならだんごむしだよ。」という感じのエンディングです。

この絵本のように、主人公やキャラクターを探す絵本はたくさんあります。小さい子向きだと「きんぎょがにげた」(五味太郎作、福音館書店、1982年刊)などは、ご存じでしょうか。大きい子だと「ミッケ」(小学館)かな。小さな子も大きな子も、大好きですよ。どうぞ、ストーリーとともに「すーちゃん」探しを楽しんでください。絵本は絵を読むものなので、じっくりと楽しんでください。

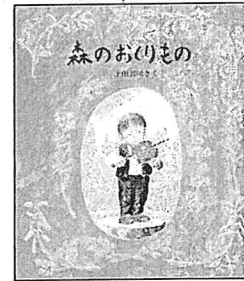
さて、我が家の息子たちは、得田さんの絵本に本当にお世話になりました。毎日毎日、飽きもせず「むし」「むし」「むし」。得田さんの絵本を堪能しておりました。中には、40年も前に出版されたものもありますが、いきもの好きのお子さんには、読んでほしいものがたくさんあります。どうぞ、カウンターでお尋ねください。



「ミッケ!」
ウォルター・ウィック写真
ジーン・マルソー 文
糸井 重里 訳
小学館 1992年

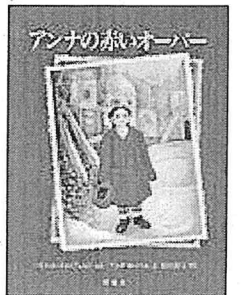
☆おはなしポケットメンバー おすすめ本☆

『森のおくりもの』 土田義晴(著) 佼成出版社 1993年



私的「クリスマスの絵本といえばこれ!」その1。
スクリーンに大写しにされ、バイオリンとピアノの生演奏つきで語られた、朝陽三小のスペシャル読み聞かせを約8年経った今も忘れられずにいます。上手でなくてもめげずに、バイオリンの練習をつづける男の子。森の動物たちとの交流、そしてきれいなラストシーンにじ〜んとする、やさしい物語。森の四季の移ろいや小道具も細かくて、雰囲気があります。

『アンナの赤いオーバー』 ハリエット・シーフェルト(作) アニタ・ローベル(絵) 松川真弓(訳) 評論社 1990年



私的「クリスマスの絵本といえばこれ!」その2。戦争が終わったら、新しいオーバーを買ってもらおう約束をしたアンナ。でも戦後は、物資もお金もありません。そこでアンナのお母さんは…。羊毛を手に入れ、糸をつむぎ、コケモモで赤く染め、さらに布に仕立て、オーバーに縫いあげる。お百姓やおばあさん、はたやに仕立て屋など、春から時間をかけて多くの人にたのみ、家の大事な装飾品の数々と交換に完成したオーバー。子ども服一着に、こんな時間と手間と経費がかかるなんて! そのかけがえのなさが愛しくて、豊かな時代の今も読みたくなります。

おはなしポケット たかはしゆか

～てあそび・わらべうた・やってみよう～

『ぞうきん』 クリスマスのあそびは大そうじ!? (笑) 赤ちゃんをあおむけにして あそびます!

① ラララ ぞうきん
ラララ ぞうきん
ラララ ぞうきんを縫いましょう
(赤ちゃんの体をなであげる)

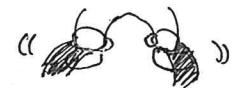


② チクチクチクチク×3
縫いましょう
(ひとさし指で
おなかをつく)



③ ラララ ぞうきん×3
ぞうきんを洗いましょう
(①と同じ)

④ ザラザラ ザラザラ×3
洗いましょう
(足首を左右にふる)



⑤ ラララぞうきん×3
ぞうきんを絞りましょう
(①と同じ)

⑥ キュッキュ キュッキュ×3
絞りましょう
(手足などをつかむ)



さいごは「高い高い」で干しましょう♡